

まちなみ通信

No. 82

～ 旧若狭家の痕跡調査 ～

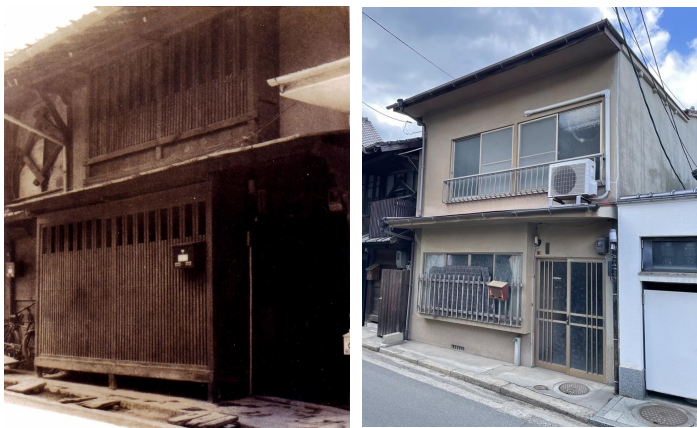


甘日市市宮島町のスタンプ

一痕跡調査の実施一

伝統的建造物である旧若狭家は、江戸期に建てられたと推定されています。昭和47年ごろにも外観の改変が行われ、現在の姿になりました。

旧若狭家は公開施設整備にあたり、修理工事を行い昔の姿に復原することになります。復原するためには、古写真はあるものの、昔の姿がどうなっていたか詳細に知る必要があり、明確な根拠を得るために外壁を一部撤去し「痕跡調査」を実施しました。



古写真（昭和40年前後） 現在（痕跡調査前）

一実際に行った痕跡調査の手順一

①古写真の分析

古写真から格子などの様子や寸法を分析する。

②調査箇所の設定

昔の姿が不明な箇所を検討します。不明な部分は現地で調査します。

③足場設置

作業の安全性、周囲への音や粉塵などの影響を配慮し、足場やシートを設置します。

④外壁材撤去

古材を傷つけないように慎重に新しい外壁材を撤去します。

⑤痕跡の測定・分析

発見した痕跡の寸法等を測定・分析し、記録に残した上で、それらを基に復原図を作成します。

一発見された痕跡一

発見された痕跡の一部を紹介します

下の古写真から、2階の屋根の下には、底を支える腕木と持ち送りがあったと思われます。

古写真で何となく部材があると考えられた部材が、実際に現場を確認すると、その①～②の痕跡が確認されました。今後、この痕跡に基づいて、詳細な設計を行っていきます。



①腕木の痕跡
(屋根を支える)

内部土壁を支えるための貫という部材の痕跡

②方杖の痕跡
(屋根を支える)

～ 伝統的建造物の紹介 No.16 《坂田家》～

下西連町に建つ町家で、主屋は部分的に2階建て、間口5間半、奥行4間半の切妻造葺瓦平入の建物です。基礎は切石で正面に出格子がついています。19世紀後期に建てられたと推定されています。

令和5年度に修理工事を行い現在の外観となりました。



修理前



修理後

— 申し出受付中 — 【補助制度】 シロアリ駆除しませんか？

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。

（補助率9/10以内 上限100万円） ※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、一度、宮島企画調整課までご相談ください。

【建物相談会のご案内】

宮島企画調整課の職員（建築職）による、建物相談会を実施します。相談内容に応じて最良のアドバイス・ご案内等をさせていただきます。相談日以外でも、建物に限らずお困りごとなどの相談を受け付けておりますのでいつでもご連絡ください！

○日時：令和8年3月13日（金）10時00分～16時00分〈予約は不要です〉

○場所：etto 宮島交流館 1階会議室

○相談事例：建物のお困りごと（雨もり、シロアリ、外壁の劣化、耐震化など）や補助制度のことなど

※ 相談等に関して知り得た個人情報を利用目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供することはありません。

【勉強会のご案内】 主催：宮島ええまちプロジェクト

『宮島の建物のこれからを考える』守りながら、使い続けるための勉強会を宮島ええまちプロジェクトが開催します。

第1回 3月2日（月）13:00～15:00 誰でもできる建物を長く使うための「見方」

第2回 3月4日（水）14:00～15:30 宮島の「相続」の話

第3回 3月4日（水）17:00～19:00 伝建地区制度と建物の修理・改修・補助

○場所：勸心舎（宮島こもん） 宮島町809

詳しくは、広報折込チラシをご覧ください！ 〈現地参加の方は事前申し込み不要です〉

○番外編 3/1 13:30-16:00 土壁塗りワークショップ